



季節を知ったら
暮らしが楽しくなった

〜第三一二号〜

大雪たいせつ

十二月七日

親謁の儀

即位された天皇皇后両陛下が、伊勢神宮を参拝なさいました。

正式には「即位礼及び大嘗祭後神宮に親謁しんたつの儀」。即位礼と大嘗祭を執行われたことをみずから祖先神の天照大神にご奉告になることで、一代に一度のため、とくに「御親謁」といいます。

私は、外宮、内宮の神域で両陛下のお姿を拝見することができました。両陛下は両日、「即位礼正殿の儀」と同じ装束で臨まれました。

まず、天皇陛下は黄櫨染御袍こうろうぜんのごほうをお召しになり、二頭曳の馬車で参道を進まれました。立派な馬車と馬に目を見張りました。馬車で進まれるお姿は絵巻ものようでした。

今回の両陛下の参拝は、御正殿の御階をのぼられ、大床おおゆかで玉串を捧げられ、拝礼をされるもの。御階をのぼられるのは、親謁の儀に限られることで、やはり御在位中、一度のことと知りました。そのご参拝を終えられ、板垣南御門で馬車を待たれている天皇陛下は、まっすぐ前を向かれ、目はまばたきさえされていないような、神妙なお顔をなさっていました。天皇としてのお覚悟が感じられました。

そのあと、皇后陛下が十二単姿で参拝なさいました。皇后さまは終始、柔らかな表情で、関係者に会釈をされるなど、慈悲深いお姿でした。

天皇皇后両陛下がいてねいに参拝なさる姿を拝見して、神前に手を合わせ、祈ることの大切さを改めて認識しました。みずからの決意を神前で告げることとで、その思いも固まる。私たちは昔から、神社にお参りして、さまざまな決断をしてきたのかもしれない。

文 千種清美



おかげの里便り

おかげ横丁

○ 歳の市

しめ縄作りや餅つきなど、昔ながらの風習に触れる、お正月のことはじめ「歳の市」を開催いたします。家族揃って、お正月の準備をしてみませんか。

と き／12月14日(土)～28日(土)

10:00～17:00 ※催しによっては、開催日時が多少異なります。

ところ／おかげ横丁一帯

● お正月の支度市

新春には欠かせないしめ縄やカレンダー、ポチ袋など、お正月の暮らしを彩り、味わいを深める品々を取り揃えます。

と き／12月5日(木)～18日(水) 9:30～17:00

ところ／赤福別店舗

● お正月のお飾り市

縁起よく新年を迎えていただくための、しめ縄や松竹梅の鉢植え、ミニ門松などのお飾りが並びます。

と き／12月14日(土)～28日(土) 10:00～17:00

ところ／おかげ横丁内「赤福別店舗側特設屋台」

五十鈴塾

○ 海の祭り②

1000キロ以上の海岸線を持つ三重県。とくにリアス式の海岸線をもつ南部には漁村も多く、その海辺に伝わっている祭りも少なくありません。冬からお正月にかけては、一年の大漁祈願などを行う祭りがあります。鳥羽の海女たちの「ノット正月」をはじめ、地元の青年らが的をめがけて弓を射る勇壮な弓引きが各地で行われます。志摩の「初えびす」では初笑い、大王の汗かき地蔵祭りなどユニークなものも。また志摩地方の漁師や海女などに篤く信仰される青峯山正福寺の「御船祭」も盛大に行われます。伊勢神宮に御料を納める海辺で、ひっそりと行ってきた井戸をまつお祭りなど、海辺に生きる人々が大事に守ってきた祭りを紹介します。

と き／12月13日(金) 13:30～15:00

講師／千種 清美(文筆家・皇學館大学非常勤講師)

参加料／一般1,350円 会員850円

ところ／五十鈴塾右王舎

※お問い合わせ 0596-20-8251

五十鈴茶屋

○ 節気菓子

ゆず
柚子

柚子の果皮を搾りおろし、村雨に仕立てました。大器晩成、ようやく実をつけた柚子の香りを、彩りも爽やかにお楽しみください。

ほがき
干し柿

伊勢路の家々の軒下に揺れる、大小とりどりの吊るし柿を想いつつ、柿餡を餅生地で包み、冬ならではの風物詩を模りました。

ふゆ
冬なごみ

粒餡を包んだ二色のきんとんに羊羹の赤い実をのせました。吹く風は冷たくとも、しばし心を和ませるような、冬物語の情景です。